

# グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 炭を使った年代測定

02 銅版画家、清水敦

Vol.346

2026/06/01



八重柏誠《今年のサクラ》

## Photo 今月の1枚

例年になく暖かい日が続いたためでしょうか、みどりの村のサクラは4月下旬に満開となりました。例年、多くの皆様の目を楽しませるサクラなのですが、悪天候が続いたことで、あっという間に散って行ってしまいました。いつもなら、GW期間中は楽しむことができたのですが、今年は少し残念な春となってしまいました。(八重柏誠)



## 01 Green Column グリーンコラム

# 炭を使った 年代測定

写真・文／八重柏誠

**美**幌町元町2遺跡では、<sup>きつもん</sup>擦文文化の頃に使われた竪穴住居跡が39軒見ついています。なぜ擦文文化の住居とわかるのかというと、出土した土器の形式や、住居跡に堆積した火山灰の年代から、9～10世紀頃を中心とした集落だったと推定されたからです。しかし、土器の形式や地層の状況による年代は、あくまでも学術的な「推定」。本当にその年代のものなのか、少し疑問に思いますよね。

そこで、より正確な年代を調べるために、理化学的な手法が用いられます。埋蔵文化財の調査では、「放射性炭素年代測定」と呼ばれる方法が一般的です。この手法は、炭素にごくわずかに含まれる放射性同位体「炭素14」を利用しています。「炭素14」は不安定な物質で、時間の経過とともに一定の割合で減少していく性質があります。この残っている量を調べることで、何

年前のものかを推定できるのです。

元町2遺跡では、火災によって焼けた「焼失住居」が12軒見つかり、炭化した木材が大量に出土しています。この炭化木材を使って年代測定を行った結果、事前の推定通り「9～10世紀頃」という年代が示されました。擦文文化は7世紀頃に道央圏で発生し、次第に道北・道東へと広がっていきました。道東地域に伝わったのは9～10世紀頃と考えられているため、元町2遺跡の集落は、道東地域の中でも古い時期の集落跡であることが科学的にも裏付けられたこととなります。

この年代測定の詳しい成果は、「美幌博物館研究報告 第33号」に掲載されています。ご興味のある方は、ぜひ一読してみたいはいかがでしょうか。

## 銅版画家、 清水敦

作品／清水敦・文／早田真莉子



今月6日、網走市呼人在住の銅版画家<sup>しみず あつし</sup>清水敦〔昭和12（1937）年ー〕氏による講座を開催します。なかなか触れる機会の少ない銅版画とは、どのようなものなのでしょう。か。

版画には、大きく分けて4つの種類があります。まずは木版画が属する「凸版」。これは、版の凸部にインクをつけて刷る方法です。次に「凹版」は、版の凹部にインクを詰めて刷り取ります。銅版画は凹版に分類され、お札も凹版で刷られています。続いて「孔版」。これは版の孔部（穴があいている部分）からインクを落として刷る方法で、代表例にはシルクスクリーンが挙げられます。最後に「平版」。平版は、版に油性部と水性部を作って刷り取ります。そして今回体験する「直刻銅版画」は、ニードルなどの鋭利な道具で銅板に描画し、刷り取る方法です。独

特の味わいがある作品がどのように作られるのか、ぜひ体験していただけたらと思います。

講師の清水氏は、20代半ばの頃に東京から一家で渡道。その後、札幌から呼人へと移り住み、豊かな自然環境の中で子育てをしながら、身近な動植物などを題材に、<sup>せいひつ</sup>静謐であたたかみのある作品を生み出してきました。また「びほろ植物画同好会」「きたみ植物画同好会」の指導にもあたり、呼人の水芭蕉群生地<sup>みづばしやうぐんせい</sup>の保全活動も指揮してきました。こうした清水氏の作品について、詩人で絵本作家の谷川俊太郎氏は、とても美しい批評文を遺しています（『ことばを中心に』〔草思社〕）。このほか、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏の詩画集『ちいさなものたち』〔明治書房〕や『清水敦全銅版画』〔阿部出版〕などにも作品が掲載されています。ぜひ手にとってみてください。

## Exhibition 展示

ロビー展「北海道美幌町元町2遺跡における年代測定と集落形成」  
～6月30日(火)

特別展「生き物たちの地球」  
～11月23日(日)



## Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

### 博物館講座(芸術編)「直刻銅版画をやってみよう」

6/6(土) 9:30～15:00(昼休憩あり)  
美幌博物館1階 修理室・500円  
講師/清水敦氏(銅版画家)  
対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)  
申込み/美幌博物館に電話で申込み。12名で締切。

### プチ工房「ネジネジプレスレット」

6/26(金)、27(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品  
ができ次第終了  
美幌博物館1階 講座室・400円  
講師/八重柏誠(美幌博物館)  
対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)  
申込み/美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

### 博物館講座(自然編)「意外と知らないヘビの生活」

7/4(土) 10:00～11:30  
美幌博物館2階 視聴覚室・無料  
講師/三保尚志氏(博物館学芸協力員)  
対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)  
申込み/美幌博物館に電話で申込み。50名で締切。

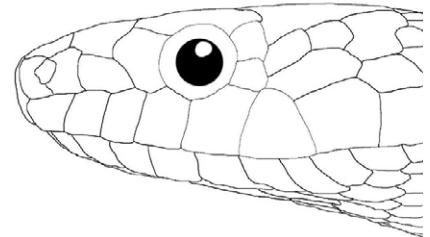
### 観察会「親子でホタルを見よう！」

7/4(土) 18:30～21:00  
美幌町内(集合・解散は役場正面駐車場)・200円(保険料)  
講師/枝澤則行(ふるさと美幌の自然と語る会)  
鬼丸和幸(美幌博物館)  
対象/美幌町内在住の親子  
申込み/右上の二次元コードもしくはNPO法人マザーズ 黒澤に電話(090-7326-9226)で申込み。20名で締切(先着順)。  
※電話での申込みは18:00～20:00の間



### プチ工房「パラコードのマイ熊鈴」

7/24(金)、25(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品  
ができ次第終了  
美幌博物館1階 講座室・400円  
講師/八重柏誠(美幌博物館)  
対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)  
申込み/美幌博物館に電話で申込み。50名で締切。



## Tweet つぶやき

最近、美幌町生まれの彫刻家 ふじとたけき 藤戸竹喜(昭和9(1934)年～平成30(2018)年)氏に関するお問合せが、ちらほらと寄せられます。当館には、彼の無名時代の作品が1点収蔵されています。もしかしたら皆様のご自宅にも、名品が眠っているかもしれません…!(早田真莉子)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館  
【デザイン】城坂結実  
【編集】早田真莉子  
【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002  
北海道網走郡美幌町字美禽 253-4  
Tel. 0152 (72) 2160  
Fax. 0152 (72) 2162

